

コロナから命と生活を守る！
安倍政権を倒し民主主義的社会主義へ！
都知事選・都議補選勝利で東京都政を変えよう！

6.21 MDS 集会

民主主義的社會主義運動・Movement for Democratic Socialism

6月21日(日) 13時半開場・14時開始
大田区入新井集会室 参加費 500円
(大森駅から徒歩5分 Luz大森4階)



【第1部】

- ▶ あいさつ
- ▶ 基調講演

『コロナから命と生活を守る！』

安倍政権を倒し民主主義的社會主義へ！』

◇茅根潤一 (MDS東京南部地区委員長)

- ▶ 特別講演『新型コロナ感染症を正しく捉え闘う
～自らも感染した体験を踏まえて～』

◇室生祥 (医療問題研究会・医師)

集会 プログラム

【第2部】

- ▶ コロナを口実にした解雇を許すな
◇伴幸生 (首都圏なかまユニオン委員長)
- ◇争議を闘う組合員より
- ▶ 大田区との交渉・区議会陳情報告など
- ▶ 都知事選・都議補選に勝利しよう！
- ▶ 討議・交流
- ▶ 2020ZENKO in Osaka の成功を！
- ▶ 週刊MDS購読のお願い
- ▶ まとめ・行動提起 7月沖縄集会など

駅前での宣伝活動



大田区役所交渉



○安倍政権は追い込まれています。民主的諸権利を強権的に奪った「緊急事態宣言」は、感染症対策ではありませんでした。PCR検査の抑制策は感染を拡大させ、市民を死に迫りやりました。特別給付金10万円は、未だ届いていません。宣言により休業を強制しながら、必要な財政支出・補償を放棄し自治体任せにしたことで、倒産・失業など被害はこれから一層深刻化していきます。

○根本的に誤っているコロナ対策への批判、検察OBからの反対意見書の提出、662人の弁護士・学者などによる安倍の刑事告発、辺野古新基地建設など、憲法と法律を歪め好き勝手に法解釈を変更し、改憲を狙う安倍政権を市民は許してはいません。安倍政権は、PCR検査基準や雇用調整助成金上限枠の変更など、重要政策を幾度となく変え、撤回せざるを得なくなりました。

○安倍政権は、グローバル資本の利益を最大限守り、市民に犠牲を押し付けてコロナ「出口戦略」を進めようとしています。私たちは、正しい医学的知見に基づく科学的なコロナ感染症対策を確立しなければなりません。

○MDSは、医療や介護を脆弱化し教育権を奪い、明日を生きられぬ貧困を押し付ける新自由主義路線ではなく、民主主義的社會主義を展望とする人権尊重の平等な社会をつくりだしていくことを訴えます。

○7月5日投票の都知事選と都議の補選(大田区)も控えています。地域からみんなで声を上げ、市民と野党の統一候補を勝利させ、都政・区政を変えていきましょう！安倍を退陣させましょう！MDS集会にご参加ください！

主催：MDS (民主主義的社會主義運動) 東京南部地区委員会

連絡先：090-4130-2940 (茅根) ホームページ：<http://www.mdsweb.jp/>